



# Close Up YNU 2013

〈国大ニュース〉

大学との「絆」をより深める、コミュニティマガジン

## Message from President

## Re-Start YNU

再任にあたってのご挨拶 — 横浜国立大学長 鈴木邦雄

これまで4年間、横浜国立大学長として、皆様のご支援をいただき微力ながら本学の発展に向けた職務に邁進できましたことを、お礼申し上げます。本年4月からは任期2年の学長の職を継続することとなりました。あらためてご挨拶申し上げます。

私が学長に就任後のこの4年では、第1期中期目標・中期計画の最終評価(最終年度)と第2期中期目標・中期計画の策定から始まり、教育系および理工系部局の改組・設置(2011年春)、学生センター設置

(2012年夏)、そして国際社会科学研究科の改組(2013年春)、国際戦略推進機構等の設置(2013年春)など、社会のニーズの変化に応じた本学の教育研究の発展・充実にかかわることができました。おかげさまで、卒業生、関係者、教職員の皆様のご理解・ご協力をいただきながら、何とか今日に至っています。

今後は大学の財政等の基盤強化、グローバル化、社会貢献等の課題を乗り越えることが主眼となります。このため、教職員が丸となって邁進することはもちろん、本

学の強みのひとつである国内外で活躍している同窓生、先輩の教職員の皆様のご協力・ご支援がかかせません。オールYNUのネットワークを強化し、さらなる大学の発展に尽力していく所存です。

ここにあらためて自身の責務を全うすることを表明すると共に、引き続き皆様からのご協力をお願い申し上げます。



学長就任式で所信表明を語る鈴木学長

## ■ 本学が「本当の"就業力"が育つ大学」総合2位にランクインしました!

「日経 CAREER MAGAZINE “受験から就職まで 親と子のかしい大学選び 2014” (日経 HR, 2013年6月17日) の特集「本当の“就業力”が育つ大学ランキング」で、本学が総合ランキング2位に選ばれました。

ランキングは、全国の就職活動中の大学3年生、大学院1年生約4,450人に「学業」「課外活動」「交友関係」「就業観」についてのアンケートを行い、得られた回答をもとに算出されたものです。

こうした指標から、単に就職するだけでなく、自分に合った仕事を見つけ持続的にきちんと仕事をしていける力＝“就業力”を身につけることができる大学を示しています。

本学は総合大学としてはトップ。「交友関係」「課外活動」においても上位に位置しています。

すべての学部・大学院が同じキャンパスにあることで学部・大学院を越えた交流、また多くの留学生との交流ができ、そこで培われる人間関係が充実していることをうかがわせる結果となりました。

## ■ YNU 学生ポートフォリオの導入をスタート!

本学では、卒業時に学生がもつべき資質・能力である到達目標と学習成果の関係を可視化する「YNU 学生ポートフォリオシステム～学びの通信簿～」を2013年度入学生から導入しました。

YNU 学生ポートフォリオを利用することで、大学生活で得た学習などの経験や、その時々思い、成果を得るまでのプロセス等を蓄積し、また、学習状況等を振り返ることにより、学習を深化させ、将来のキャリアデザインに活かしてもらえればと考えています。

### YNU 学生ポートフォリオのしくみ



YNU 学生ポートフォリオ [www.ynu.ac.jp/career/ynu/portfolio.html](http://www.ynu.ac.jp/career/ynu/portfolio.html)

## 国際戦略推進機構を設置!

### 横

浜国立大学(YNU)が、大学憲章として「実践性」「先進性」「開放性」「国際性」を掲げていることはよく知られています。特に、国際性(グローバル性)については、大学発足当初から留学生を積極的に受け入れ、これまでに数千人の留学生を世界中に送り出しています。そしてその多くは自国政府の高官や、各国の大学教員・企業の重役等として活躍しています。また、外国人留学生のための英語によるプログラムも複数設置していることから、留学生が多い環境(在籍学生の約9%が外国人留学生)にあります。しかしながら、近

年、大学の国際性を語る上では、留学生数が多いというだけでなく、日本人学生をグローバル人材として育成することが大きな使命となってきています。

YNUでは、「世界を舞台に活躍できる人材の育成」「世界に開かれた教育研究活動」を推進するため、「アウェーで戦える」を一つのキーワードに、常に新しい試みに挑戦しています。これらの活動を全学的な観点から各組織を有機的に連携させ、更に戦略的なグローバル人材の育成、国際学術研究及び国際連携を推進するため、2013年4月に国際戦略推進機構(機構長: 山田均理

事)を設置しました。この組織はこれまで、YNUの国際戦略の企画部分を担当していた「国際戦略推進室」と、学生の国際性を高めるための基盤となる「日本語を含む外国語教育」、そして海外との学生交流の窓口である「留学生センター」の3つを改組統合したものです。

今後、YNUではこの国際戦略推進機構を中心に、世界に開かれた存在感のある大学として、実践的学術の国際拠点の機能を果たし、地球規模で貢献することをお約束します!

## 2013年10月 英語による学部プログラムを開設!

YCCSウェブサイト [www.yccs.ynu.ac.jp](http://www.yccs.ynu.ac.jp)

YNUでは、2013年10月に、外国人留学生向けの英語による学部プログラム、「YOKOHAMA クリエイティブ・シティ・スタディーズ 特別プログラム」を開講します。

このプログラムの学生は、教育人間科学部の人間文化課程に所属しますが、授業等は全学部から提供され、「都市文化共創

Urban Cultural Creation」「都市社会マネジメントUrban Social Management」「都市創成技術 Urban Creative Technologies」の3つの重点領域を横断的に学ぶことにより、未来を見据え、世界をフィールドとして活躍できる先駆的若手リーダーを養成するものです。

また、同プログラムで開設される英語によ

る講義等は、日本人学生にも開放され、日本人学生の語学力の向上や、留学生と日本人学生が協働ワークを行う事により、多国籍グループの中でのリーダーシップ力強化育成にも役立つプログラムです。

すでに第1期生の募集は終了し、バラエティに富んだ12ヵ国から応募がありました。

YNU  
Alumni Meeting

### 2012年度開催の海外同窓会報告

2012年度は4ヵ国5都市で同窓会を開催し、YNUの輪を広げました。楽しそうな様子を写真でご紹介します。



Taipei



Kuala Lumpur



Hanoi



Ho Chi Minh



Beijing

## YNU国際シンポジウム2013「現代に生きる岡倉天心」を開催

は まぎんホール・ヴィアマールにて、2013年1月25日、「現代に生きる岡倉天心ーグローバル人材としての再評価」と題するYNU国際シンポジウムを開催しました。

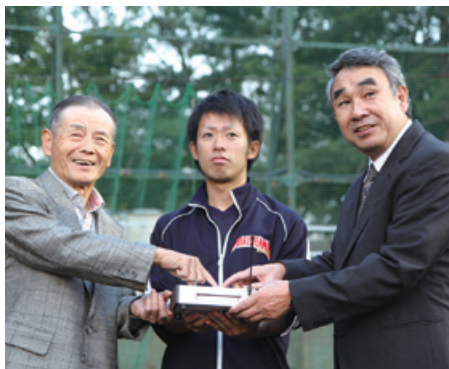
第1部での本学元教授(教育人間科学部)の木下長宏氏による基調講演、続くパネルディスカッション、第2部での本学に留学経

験のあるタノン・ビダヤ元タイ王国商務相・財務相による講演、続くパネルディスカッションを通して天心の国際性が再確認され、本学が目指す真のグローバル人材の育成を考える上で、天心が一つの「モデル」となるのではないかとの思いが参加者の多くに共有された意義深いシンポジウムとなりました。

第1部パネルディスカッションの様子



## 卒業生からスコアボード等を寄贈いただきました



本 学野球場において、2012年10月30日、スコアボード等の寄贈への感謝状贈呈式を行いました。これは、1958年度経済学部卒業生で硬式野球部OBでもある稲垣侃生さんから、野球場にスコアボードや観戦用ベンチ、放送室設備を寄贈いただいたことに対するセレモニーとして行われたもので、硬式野

球部OBのほか、本学からは鈴木学長を始めとする教職員や硬式野球部員が出席し、感謝状の贈呈、スコアボード点灯式、始球式を行いました。

始球式では稲垣さんの投球に大きな歓声が上がリ、鈴木学長と稲垣さんの固い握手で幕を閉じました。

左からスコアボードを点灯する稲垣さん、硬式野球部員の木宮さん、鈴木学長

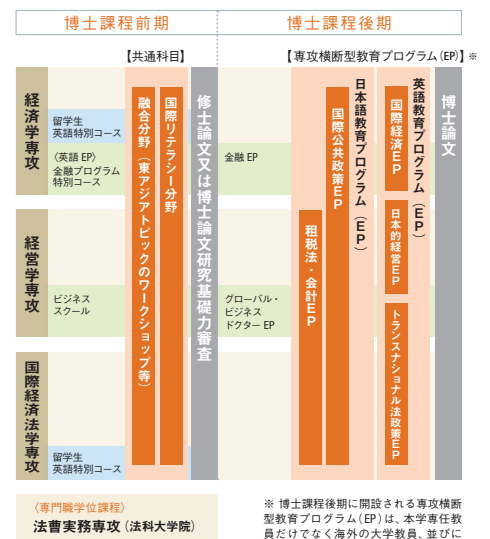
## これからの"グローバル新時代"に求められる人材を養成するため 2013年4月、大学院国際社会科学部を改組しました

国際社会科学部・研究院ウェブサイト [www.gsiss.ynu.ac.jp](http://www.gsiss.ynu.ac.jp)

本 学大学院国際社会科学部は、2013年4月、教育組織の「学府」と研究組織の「研究院」に改組され、学府では、同研究科に置かれていた博士課程前期5専攻、博士課程後期4専攻を、博士課程前期・後期一貫型の経済学、経営学、国際経済法学の3専攻に発展的に統合しました。法科大学院も含め、従来から行ってきた融合性や国際性の高い実践的教育をさらに強化し、グローバル新時代に求められる幅広い知識と特定分野での高い専門性を発揮できる実務家、研究者を養成します。

研究院では、グローバル新時代の社会的ニーズに対応するための、国際性と融合性を指向した高度な専門的研究を展開します。本研究院では、経済学、経営学、法学という社会科学系3分野において高水準かつ先端的研究を行います。加えて、これら3分野の横断的な研究プロジェクトを組織し、機能的かつ機動的に研究活動を推進します。また、新しい融合的研究プロジェクトを創設することで、本学の工学研究院、環境情報研究院、都市イノベーション研究院との協働や、国内外の大学・研究機関、産業界との連携により、新たな研究を創出します。

改組により新たに設置された国際社会科学部の概要



大学が果たす重要な役割として、「教育」と「研究」の二つが挙げられますが、今回は、YNUの教育現場で実際に生かされている研究を二つご紹介します。

## ビジネスゲームで企業経営を疑似体験 ～教育から研究・問題解決に向けて～

経営学部 白井 宏明

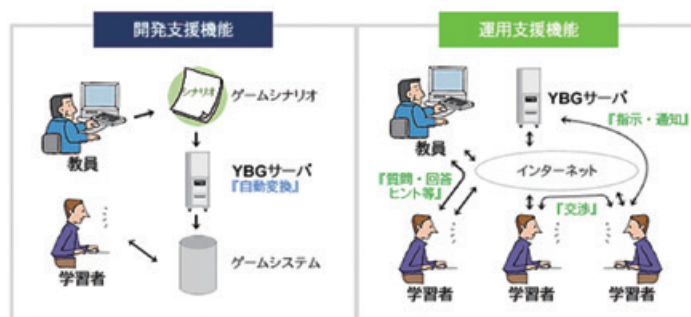
YBGシステムウェブサイト [ybg.ac.jp](http://ybg.ac.jp)

**皆**さんは、企業経営を体験してみたいと思いませんか。ビジネスゲームではそれが可能です。学生が仮想企業の経営者となり、他の企業と競争・協調して意思決定することで企業経営を疑似体験し、経営のスキルを身につけることができます。経営学部では、文部科学省のGP事業補助金を受け、ビジネスゲームの開発と運用を支援するためのコンピュータツールとして、YBGシステム(Yokohama Business Game)を開発しました。現在、全国の90大学に無償で提供しています。

また、ビジネスゲームは社会人教育にも有効なことから、民間企業との共同研究を

行い、個別企業向けのビジネスゲームの開発や研修プログラムの構築を行ってきました。その一例として、ソフトバンクグループの社内研修プログラムへの導入や研修サービス外販を可能とするためのライセンス契約が挙げられます。このライセンス費用

YBGシステムのしくみ



Hiroaki Shirai  
国際社会科学研究院  
教授  
専門はゲーミング・シミュレーション、経営情報システム

## 授業支援システムのプチ・イノベーション

### ～「学習特徴チャート」学習行動可視化機能の開発について～

情報基盤センター 徐 浩源

**近**年、ICT活用教育が推進され、学習教材の配信・テストの実施・レポート・出席・成績管理などの情報を統合管理するシステムとして、授業支援システム(Learning Management System、以下、LMS)が注目されています。本学は

2006年からLMSを導入し、2012年度には600科目以上で利用しています。

一方、入試制度・高校教育の多様化から、学生の学力と指向が多様化しており、学生一人ひとりの学力に応じた指導が求められています。履修者である学生の学習活

動をより正確に把握し、質を保証できる教育活動を支援するために、本学と富士通(株)が協働でLMSに蓄積される学習履歴データの分析結果から、積極性、計画性、継続性などの学習行動の特徴をチャートで示す機能を国内で初めて開発しました。

この新機能「学習特徴チャート」により、教員は学生のテストやレポートの結果だけではなく、理解度に大きな影響を与えている学習行動の特徴も一目で把握することができ、より適切な個別指導ができるようになりました。

2013年4月に、横浜国立大学で本機能を搭載したLMS(製品名:Course Power)の本格運用を開始しました。今後、LMSはYNU学生ポートフォリオと併せてより効果的な教育活動の推進の一助になると期待しています。



XU Haoyuan  
情報基盤センター  
教授(副センター長)  
専門はコンピュータ/ネットワーク基盤技術、情報セキュリティなど



# 創立 60 周年記念募金事業

創立 60 周年記念募金事業 [www.ynu.ac.jp/about/found/donate.html](http://www.ynu.ac.jp/about/found/donate.html)

2009年に横浜国立大学が新制大学として創立 60 周年を迎えたことを記念して行った本事業は、皆様のご協力により多大な成果をあげることが出来ました。

## 創立 60 周年記念募金事業の成果

募集期間:2009年10月1日～2012年3月31日／募金総額:55,040,000円／募金件数:1,390件  
集まった募金の使途について、以下のように決定いたしましたのでお知らせいたします。  
今後、事業実施状況については、大学ウェブサイトにてご報告いたします。

## 募金の使途

募金活動に要した経費(※)を差し引いた募金を、国際交流基金の事業経費に充当し、「Y60奨学金(新規事業)」を創設する等、横浜国立大学の国際交流推進のために活用します。  
具体的には、次の①及び②の事業を中心に実施します。(5年後に見直しを予定)  
(※募金からは総額55,040,000円の中の5,040,000円を支出、その他は大学が負担)

### ① ショートビジット(3ヶ月未満の派遣留学)奨学金

@50,000円/人×40人分 2,000,000円

学生支援機構から@80,000円/月の支援で実施され、本学では2011年度12件399人、2012年度14件366人もの実績がある同事業が、2013年度からは別事業として縮小されることから、今後より多くの学生が海外経験を積めるよう本学独自の事業として支援を行います。

### ② YCCSに入学する外国人留学生奨学金(入学年限り)

@300,000円(1人当たりの上限)/人×約10人 3,000,000円(年間の上限)

英語による授業のみを履修して学士の学位を取得できる学部プログラムであるYCCS(YOKOHAMAクリエイティブシティ・スタディーズ 特別プログラム)に入学する外国人留学生の支援を行います。(2013年度10月開講予定)

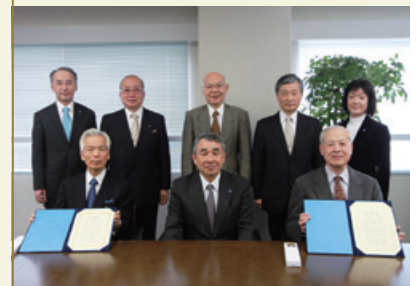
### ③ その他国際交流基金で実施する事業への充当

研究者の派遣・受入事業、国際学術交流奨励事業(学生)等

## 感謝状贈呈式を実施

2013年3月14日、横浜国立大学創立60周年記念募金事業感謝状贈呈式を執り行いました。贈呈式では、本事業への高額寄附者の中から、個人代表として太田惇様、団体代表として旭化成株式会社最高顧問 蛭田史郎様に御来学いただき、鈴木邦雄学長より感謝状と記念品を贈呈しました。感謝状贈呈後は、本事業にご尽力いただいた各同窓会の代表の方々を交えて記念撮影及び懇談を行い、太田様、蛭田様からは、本学への期待や応援が込められた温かいお言葉をいただきました。

前列左から蛭田様、鈴木学長、太田様



## TOPICS

## 学生の活躍

# 平成24年度学生表彰の表彰状授与式を挙行

2013年3月14日、学長室にて平成24年度学生表彰の表彰状授与式を行いました。今回の授与対象は1団体、個人4名で、それぞれ課外活動において以下の成績を収めたことが表彰へとつながりました。

表彰状授与式当日は、あいにく、陸上競

技部の清水さん、福田さん、八木さんは都合がつかず欠席されたため、陸上競技部顧問の伊藤信之教育人間科学部教授が代表で表彰状を受け取ることとなりました。

表彰状授与式終了後には、懇談会が行われ、和やかな雰囲気の中で選手の活躍を称えました。

前列:左から、準硬式野球部 前主務 池田洋さん、鈴木学長、女子ラクロス部 高野ひかりさん  
後列:左から、有松理事、中村準硬式野球部顧問、泉女子ラクロス部顧問、伊藤陸上競技部顧問、溝口理事



### 平成24年度 学生表彰の 表彰状授与

準硬式野球部

女子ラクロス部:高野ひかりさん

陸上競技部:清水楽さん、  
福田竜慈さん、八木萌梨さん

神奈川大学準硬式野球リーグの春季、秋季で準優勝し、大学準硬式野球の甲子園大会と言われる「清瀬杯」第44回全日本大学選抜準硬式野球大会に出場。

日本代表として世界選手権大会に出場。

第26回、第27回の国公立22大学対校陸上競技大会の当該種目において連続優勝。  
清水さんは、第26回大会の最優秀選手賞を受賞。



## 第8回横浜国立大学 ホームカミングデー (HCD) のご案内

第7回ホームカミングデーの様子

第8回ホームカミングデーの開催日が決定しましたのでご案内いたします。ホームカミングデーは、毎回、著名なゲストをお迎えしてのメイン講演をはじめ、キャンパスツアー、留学生の発表、サークル活動紹介、子供向け運動教室などを開催しており、卒業生と学生・教職員との交流を図る場となっています。



一般の方にも開かれたイベントとなっていますので、ご興味のある方は、ぜひYNUキャンパスへお越しください。

### 第8回横浜国立大学ホームカミングデー詳細

詳しくはこちら ホームカミングデーウェブサイト [homecoming.ynu.ac.jp](http://homecoming.ynu.ac.jp)

開催日 ..... 2013年10月26日(土)

メイン講演者 ..... 独立行政法人科学技術振興機構顧問  
前内閣府総合科学技術会議議員

元東京工業大学学長 相澤益男氏(工学部1966年卒)

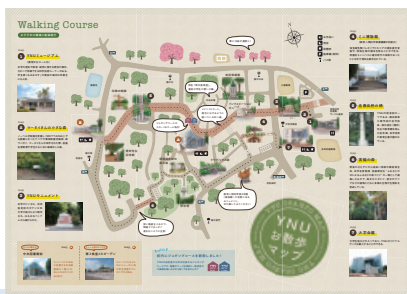
最新情報は  
ウェブサイトでご案内します!

## 「YNUお散歩マップ」が できました!

本学にはYNUミュージアムで所蔵している貴重な資料のほかにも、本学のシンボル「YNUモニュメント」や文化庁の登録有形文化財に指定されている「名教自然碑」など、キャンパス内に様々な見所があります。

そこで「キャンパスすべてがミュージアム」と題して、キャンパス内の名所を巡る「YNUお散歩マップ」を作成しました。

ぜひ一度「YNUお散歩マップ」を手に緑あふれるキャンパスをお楽しみください。



「YNUお散歩マップ」は、YNUミュージアムや広報・渉外室のほか、学内各所で配布しています。

YNUミュージアムウェブサイト  
[www.ynu.ac.jp/about/center/museum/](http://www.ynu.ac.jp/about/center/museum/)

## 卒業生・修了生の皆様へ データ登録のお願い

本学では卒業生との連携を深めることを目的として、卒業生・修了生の方々に連絡先、就職(進学)先等のウェブによるデータ登録をお願いしています。登録データの使用内容は以下の通りとなります。

- ・ 大学最新情報案内のメールマガジンの配信(月1回程度) ※希望者のみ
- ・ 本学ウェブサイトや広報誌等の卒業生インタビューのお願い
- ・ 登録情報を同窓会へ提供 ※許諾者のみ
- ・ YNU ネットアドレス(生涯メール)の登録/確認

左記のこと以外の利用および提供は一切いたしません。  
また、関係法令及び本学規則等により個人情報として適正に管理し、使用いたします。

本趣旨と使用内容をご理解の上、ご賛同いただける場合は、ご登録をお願いします。

登録  
方法

パソコン・携帯電話より下記ページにアクセスしてください。

詳しくはこちら 横浜国大ウェブサイト→「卒業生の方」→「卒業生・修了生データ登録」

<https://www.jmk.ynu.ac.jp/graduate/>



### YNUネットアドレスサービスのご案内

詳しくはこちら [www.ynu.ac.jp/about/project/netaddress/](http://www.ynu.ac.jp/about/project/netaddress/)

本学と卒業生・修了生・退職者の皆様とのネットワークをつくるため、生涯にわたって利用できるメールアドレスをご提供する「YNU ネットアドレスサービス」を開始いたしました。

本サービスは、Yahoo! Japan が教育機関向けに無料で提供しているメールシステム「Yahoo! メール Academic Edition」を利用し、本学が公的に保有するドメインである「@ynu.jp」を付したメールの送受信を行えるものです。メールサーバ本体の運用管理はYahoo! Japan が行いますが、利用者管理は本学側が行います。送受信は、主にウェブメールでのご利用となります。

YNU ネットアドレスサービスのご利用は、左記の「卒業生・修了生データ登録システム」よりお申し込みください。

## 環境創造技術のエスペック

Quality is more than a word



あらゆる環境を人工的に作り出す「環境創造技術」で、工業製品の信頼性を確認する環境試験器の世界トップメーカーです。

環境・エネルギーに関する分野でも先端技術の発展と信頼を支えています。

エスペック株式会社 <http://www.espec.co.jp/>

本社 530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6 Tel:06-6358-4741